

## ■バーンスタイン／「ウエスト・サイド・ストーリー」よりシンフォニック・ダンス

ご存知の通り、「ウエスト・サイド・ストーリー」はシェイクスピアの戯曲『ロミオとジュリエット』の現代版である。振り付け家のジェローム・ロビンズと指揮者のバーンスタインが話し合っまとめた。『ロミオとジュリエット』はたびたび映画の題材ともなってきたが、舞台を現代のアメリカに移して翻案した「ウエスト・サイド・ストーリー」も映画で知った方が多いことだろう。いきなりニューヨークの街に出てロケを行い、あっと言わせた映画は9つのオスカー賞を獲得し、記録的なヒットとなった。

もともとはブロードウェイ・ミュージカルだが、「シンフォニック・ダンス」はバーンスタイン自身が主として映画の音楽から編曲し、映画が封切られた1961年に初演した。「マリア」とか「クール」、あるいは体育館でのダンスのシーンの曲など、映画の印象的な場面を喚起する音楽をつなぎ合わせて、オーケストレーションに手を加え、9つの部分からなる20分強の作品に仕上げている。

白石美雪

※掲載された曲目解説の無断転載、転写、複写を禁じます。

楽器編成：ピッコロ、フルート 2、オーボエ 2、イングリッシュホルン、E♭クラリネット、クラリネット 2、バスクラリネット、アルトサクソフーン、ファゴット 2、

コントラファゴット、ホルン 4、トランペット 3、トロンボーン 3、チューバ、

ティンパニ、ボンゴ、タンバリン、ティンバレス、トムトム、スネアドラム 2、コンガ、

テナードラム、バスドラム、ドラムセット、トライアングル、サスペンデッド・シンバル、シンバル、フィンガー・シンバル、カウベル、タムタム、ヴィブラフォン、

グロッケンシュピール、チャイム、ウッドブロック、ギロ、マラカス、シロフォン、

ポリスホイッスル、ハープ、ピアノ（チェレスタ持ち替え）、弦五部

※スコア上の表記